

### 【短報】茨城県北部におけるナラコメツキモドキの発生消長

茨城県でのナラコメツキモドキ *Languriomorpha nara* (Lewis, 1883) の記録は、筆者らが北茨城市和尚山で2002年にマレーズトラップで捕獲された1個体に基づいて報告したのが最初である(楨原ほか, 2015)。ナラコメツキモドキは稀少種とされ(佐々治, 1985)、これまでの採集記録は単発的で、発生時期については言及されていない(高橋, 2009)。

筆者らが実施した北茨城市小川学術参考林およびその周辺地域の国有林での昆虫相調査は、2002年4月から11月まで継続的に行ったもので、10カ所の調査林分にマレーズトラップ各5基を設置して実施したものである。この2002年の捕獲標本を改めて精査したところ、数多くの本種を見出した。比較的まとまった地域なので、捕獲データをまとめて発生消長とし、ここに報告する。なお本研究は環境研究総合推進費 1-1401 によって行われた。

表1. 調査地および捕獲個体数。

調査地	林班名	伐開後 経過年数	捕獲個体
小川学術参考林	林班11い1	128年目	1 ex., 17. VI-3. VII
学術参考林脇	林班3か	-	1 ex., 2-18. VII 2 exs., 18-31. VII
小川～定浪	林班3に3	3年目	2 exs., 22. V-4. VI 1 ex., 4-17. VI 2 exs., 17. VI-3. VII 5 exs., 2-18. VII 1 ex., 18-31. VII
和尚山	林班3と	174年目	2 exs., 2-18. VII 1 ex., 13-29. VIII 3 exs., 2-18. VII
猿ヶ城原生林	林班21ぬ	178年目	3 exs., 2-18. VII
猿ヶ城二次林	林班21い	71年目	1 ex., 21. V-4. VI 1 ex., 17. VI-2. VII 6 exs., 2-18. VII
養魚場	林班8は1	54年目	1 ex., 4-17. VI 3 exs., 2-18. VII 5 exs., 18-31. VII 1 ex., 31. VII-13.
養魚場手前	林班61は	12年目	1 ex., 8-22. V 1 ex., 2-17. VII 1 ex., 31. VII-13.
境沢	林班5か	23年目	3 exs., 2-18. VII 1 ex., 18-31. VII
境沢伐開地	林班6は	1年目	1 ex., 22. IV-9. V 2 exs., 4-17. VI 1 ex., 31. VII-13.

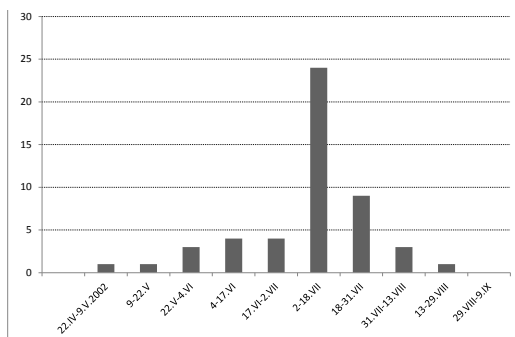


図1. 発生消長。

調査地は表1に示す通りで、調査期間は2002年4月22日～11月23日であった。

本種は、すべての調査林分で捕獲された(表1)。これらを纏めた捕獲消長は図1に示したように4月下旬ないし5月上旬より始まり、7月上中旬に増加して8月で終息した。コメツキモドキ類は屋によく飛ぶグループなので、飛翔している昆虫を捕らえるマレーズトラップによる捕獲消長は、概ね本種の活動時期と考えられる。このことから、本種の発生は4月下旬か5月上旬から始まり、最盛期は7月上中旬で、8月下旬まで長期にわたり発生していると推定されるが、成虫の生存期間は分かっていないので、これが羽化時期に相当するかは定かでない。

### 引用文献

- 楨原 寛・生川展行・後藤秀章・岡部貴美子, 2015. 茨城県未記録のオオキノコムシ科. さやばねニューシリーズ, (19): 56.  
 佐々治寛之, 1985. コメツキモドキ科. 原色日本甲虫図鑑(III) (黒沢良彦・久松定成・佐々治寛之編), pp. 212-217, 保育社, 大阪.  
 高橋泰美, 2009. 岩手県におけるナラコメツキモドキの記録. 月刊むし, (466): 22.

(楨原 寛 森林総合研究所)  
 (後藤秀章 森林総合研究所九州支所)  
 (後藤忠男 森林総合研究所)  
 (岡部貴美子 森林総合研究所)